

危機管理総局

1. 部総括表

部名：危機管理総局
(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
3-1	危機管理課	(45,100)	(42,999)		(2,101)	
		1,254,320	1,193,061	1,733	59,526	
3-2	くらし安全安心課	265,605	261,392		4,213	
	部計	(45,100)	(42,999)		(2,101)	
		1,519,925	1,454,453	1,733	63,739	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：危機管理課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
3-1-1	防災総務費	286,854	283,927		2,927	危機管理課の運営に要する経費 給料141,168、職員手当88,658、 共済費49,835、その他4,266
3-1-2	防災対策基本条 例推進事業	(30,800) 214,913	(29,700) 199,984		(1,100) 14,929	主要施策の成果の概要 (3-1-2)に記載
3-1-3	危機管理総務費	643			643	国民保護協議会の運営に要する経 費
3-1-4	防災行政無線整 備運営費	(14,300) 144,993	(13,299) 139,112	1,733	(1,001) 4,148	防災行政無線の維持運営費
3-1-5	防災ヘリコプ ター運航管理費	380,394	359,585		20,809	防災ヘリコプター「オリーブⅡ」 の運航管理に要する経費
3-1-6	石油貯蔵施設立 地対策事業費	99,521	93,450		6,071	番の州地区石油コンビナートの防 災対策の充実を図るため、坂出市 及び隣接市町に対する補助
3-1-7	消防学校費	95,102	92,579		2,523	消防職員、消防団員の教育訓練を 行う消防学校に要する経費
3-1-8	救急振興財団負 担金	5,600	5,600			救急救命士を養成する救急振興財 団への負担金
3-1-9	救急業務高度化 推進事業	205	111		94	救急業務における救命率の向上を 図る香川県メディカルコントロール 協議会の運営に要する経費
3-1-10	消防指導監督事 務費	10,327	3,762		6,565	市町消防業務の指導等に要する経 費
3-1-11	消防予防指導費	14,390	14,136		254	危険物施設の設置許可や指導等の ほか、危険物取扱者や消防設備士 の免状交付や講習会に要する経費
3-1-12	産業保安対策推 進費	1,378	815		563	火薬類、高圧・液化石油ガスの製造 販売等に係る安全確保や電気工業 者の登録・指導等に要する経費
	課計	(45,100) 1,254,320	(42,999) 1,193,061	1,733	(2,101) 59,526	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (3.31現在)

課名：危機管理課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
危機管理課	(25)31	[10]12	[10](25)43	
消防学校	3	[4]7	[4]10	
合計	(25)34	[14]19	[14](25)53	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務するものを〔 〕内書きにより、当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>防災対策基本条例推進事業等（3-1-2）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>自助・共助・公助の連携を基本理念とする防災対策基本条例に基づき、災害に強い県土づくりに取り組んでいるところであり、東日本大震災や熊本地震、平成30年7月豪雨等、近年の災害の発生状況や県の地震・津波被害想定を踏まえ、県民への防災・減災意識の啓発、地域防災力向上のための市町等への支援、備蓄物資の拡充など「南海トラフ地震・津波対策行動計画」等に沿って、防災・減災対策を着実に推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 県民防災・減災意識啓発事業（2,553千円）</p> <p>県民防災週間を中心に、シンポジウムなどを開催するとともに、喫緊の課題である「南海トラフ地震」の被害想定や具体的な対策を広く県民に周知するなど、県民の防災・減災意識の向上と事前対策の促進をより一層図るための啓発活動を行ったほか、小学生用防災教育副読本を改訂し、児童が副読本を家庭に持ち帰ることにより、防災教育の充実と家庭での防災意識の向上を図った。</p> <p>(2) 家具類転倒防止対策促進事業（3,912千円）</p> <p>地震発生時における家具類の転倒等による被害を軽減するため、家具類転倒防止器具の取付支援を行う「家具類固定サポート制度」を実施した。</p> <p>(3) 地域強靱化研究事業（10,000千円）</p> <p>南海トラフ地震等の大規模災害に備え、県民の防災意識の更なる向上、適切な避難行動につなげられるための施策等について、香川大学と共同で調査・研究を実施した。</p> <p>(4) 「災害に強い香川づくり」集中対策推進事業 (59,448千円)</p> <p>頻発化する風水害や発生確率が高まる南海トラフ地震に備え、昨今の大規模災害の教訓を踏まえて顕在化した課題に対して、市町が集中的に実施する防災・減災対策の取組みを支援した。</p> <p>(5) 地域防災力強化促進事業（8,682千円）</p> <p>自主防災組織の未結成地区等への指導・助言や、自主防災組織が災害時に機能するよう活動の活性化を図るとともに、「県民いっせい地震防災行動訓練（香川県シェイクアウト）」を実施し、県民の「自助」、「共助」の強化につながる取組みを促進した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>自主防災組織の活動カバー率（%）</p> <table border="1" data-bbox="943 320 1401 456"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93.3</td> <td>※97.1</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R2実績は速報値</p> <p>防災情報メールの登録件数（件）</p> <table border="1" data-bbox="943 584 1401 721"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15,378</td> <td>23,430</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年7月22日にサンポートホール高松でシンポジウムを開催した。（参加者：123人）</p> <p>香川県防災士会のサポーターが各家庭を訪問し、転倒防止器具の取付支援を行った。（支援件数：140世帯）</p> <p>県内全17市町の取組みに対し補助金を交付した。</p> <p>自主防災活動アドバイザーを派遣し指導・助言を行った。（派遣件数：10件） 令和2年11月5日10時から香川県シェイクアウトを実施した。（参加登録者：242,534人）</p>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	93.3	※97.1	100.0	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	15,378	23,430	20,000
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)											
93.3	※97.1	100.0											
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)											
15,378	23,430	20,000											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(6) 国土強靱化地域計画策定事業 (63 千円) 南海トラフ地震や大規模な風水害に備え、平成 27 年 12 月に策定した「香川県国土強靱化地域計画」について、国の国土強靱化基本計画の改訂や、近年の大規模災害の課題等を踏まえ、必要な見直しに着手した。</p> <p>(7) 実践的・総合的な災害対応訓練強化事業 (6,639 千円) 今年度運用を開始した防災情報システムの新たな機能等を活用し、市町や関係機関と連携した災害対応訓練を強化した。 また、県が関与する災害派遣において、派遣前における新型コロナウイルスのPCR検査実施体制を整備した。</p> <p>(8) 備蓄物資整備等事業 (24,503 千円) 県の地震・津波被害想定(南海トラフ地震・最大クラス)を踏まえ、避難生活等に必要な食料、飲料水等の物資の備蓄及び更新を行うとともに、支援物資の迅速かつ的確な供給体制を確立するため、物流訓練を行った。 また、避難所における新型コロナウイルス感染防止対策を行うため、必要な物資を備蓄した。</p> <p>(9) 震災対策用生活必需品等備蓄事業 (267 千円) 期限切れに伴うアレルギー対応食品等の更新を行った。</p> <p>(10) 災害時医療体制整備等事業 (22,197 千円) ①災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)体制整備事業 (398 千円) 被災都道府県の県庁や保健所における指揮調整機能等を支援する災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)を編成するため、チームを構成する医師、保健師、薬剤師等への専門的な研修や訓練等の実施や資機材の整備を行った。 ②高松空港SCU資機材整備・保守事業 (3,735 千円) 大規模災害時において高松空港に設置予定のSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)に必要な資機材の保守点検等を実施した。 ③香川JMART研修等事業 (688 千円) 災害医療を熟知する人材を養成するため、香川JMART研修を実施した。</p>	<p>災害派遣する県職員 4 名の PCR 検査を実施した。(令和 2 年 10 月 熊本県 1 名、令和 3 年 3 月 福島県及び熊本県 3 名)</p> <p>令和 2 年 8 月 28 日に一次(広域)物資拠点における実動訓練を、同 30 日には二次(地域)物資拠点(多度津町)を経由して避難所まで物資を配送する訓練を実施した。(参加者:約 50 人) パーテーション、段ボールベッド、非接触型体温計、消毒液、マスクを備蓄した。 更新品目 アレルギー対応粉ミルク等 3 品目</p> <p>講習会 2 回(延べ 53 名)</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>④災害時医療確保事業（1,712千円） 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定した国主催の防災訓練にDMATを派遣し、関係者間の連携強化を図るとともに、令和2年7月豪雨で被災した熊本県にDMATを派遣し、医療救護活動を行った。</p>	<p>熊本県に、香川県立中央病院及び香川労災病院からDMAT 2チーム 10名を派遣した。</p>
<p>⑤災害派遣精神医療チーム（DPAT）体制整備事業（260千円） 災害時等の緊急時において、専門性の高い精神科医療の提供と精神保健活動の支援が円滑に行われるようDPAT派遣時に必要な資機材の整備等を行った。</p>	
<p>⑥災害拠点精神科病院体制整備事業（2,351千円） 災害時の精神科医療の確保のため、災害拠点精神科病院として必要な設備等の整備に要する経費を補助した。</p>	
<p>⑦災害時における薬剤師の対応体制整備事業（400千円） 「災害時における医薬品等供給マニュアル（平成25年3月香川県）」において、薬剤師の業務内容を具体化し明記することや災害薬事コーディネーターの設置の必要性等を検討するための検討会を開催した。</p>	<p>検討会 2回開催</p>
<p>⑧災害時歯科保健医療提供体制整備事業（9,088千円） 災害時の歯科保健医療活動に必要な器具・機材の整備を行い、避難所等での歯科保健医療体制の強化を図った。</p>	<p>県内2か所に、歯科用ポータブルユニット一式、ポータブルレントゲン、体位補助装置等の器具・機材を整備</p>
<p>⑨災害派遣福祉チーム（DWAT）体制整備事業（1,421千円） 被災地の避難所などを巡回して、高齢者、障害者、妊産婦などの要配慮者に対し、入浴介助や相談支援、福祉避難所への誘導などの支援を行う「災害派遣福祉チーム（DWAT）」を編成し、災害時に対応できるよう体制整備を図るため、DWATチームの養成・派遣に関する研修、チーム派遣時に必要な資機材の整備等を行った。</p>	
<p>⑩新型インフルエンザ対策事業（2,144千円） 今後、発生が懸念される新型インフルエンザ等に備え、備蓄用抗インフルエンザウイルス薬を備蓄するとともに、各保健所に感染症対応として配備している個人防護具の更新を行った。</p>	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(11) 震災時用医薬品確保事業 (1,657 千円) 災害急性期用に応急救護所等で必要とされる医薬品及び医療資器材を県内 28 カ所の医療機関等に備蓄しており、その有効期限の満了に伴う交換等を行った。 また、香川県医薬品卸業協会の災害時用流通備蓄医薬品等の在庫確認を行った。</p>	<p>年 1 回医薬品等交換 年 2 回医薬品等在庫確認</p>
<p>(12) 保健所非常用自家発電設備整備事業 (24,907 千円) 地域における健康危機管理の拠点であり、避難所や在宅の住民の医療、保健、福祉のニーズに対応する中心拠点である保健所を対象に、災害により停電が生じた場合を想定し、自家発電設備の整備を行った。</p>	
<p>(13) 地域介護・福祉空間整備等事業 (36,781 千円) 老人福祉施設等の防災・減災対策を推進し、利用者の安全・安心を確保するため、国の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し、事業者が行う設備整備に対し、助成を行った。</p>	<p>地域介護・福祉空間整備等事業実施施設数 令和元年度 6 施設 令和 2 年度 8 施設</p>
<p>(14) 災害ボランティア等との連携強化事業 (87 千円) 被災地において、災害ボランティアが効率的かつ効果的に活動するため、「災害ボランティアセンター」の設置に関する訓練をとおして、行政、社会福祉協議会等関係機関との連携を図った。</p>	<p>参加者：香川県、坂出市、香川県社会福祉協議会、坂出市社会福祉協議会、日本赤十字社香川県支部、坂出青年会議所、香川大学</p>

2. 課総括表

課名：くらし安全安心課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
3-2-1	安全で安心なまちづくり推進事業	7,045	6,585		460	主要施策の成果の概要 (3-2-1)に記載
3-2-2	くらし安全安心課運営費	168,664	168,650		14	くらし安全安心課等の運営に要する経費 給与費87,601、職員手当等50,450、共済費29,966
3-2-3	消費者行政推進事業等	3,114	2,731		383	主要施策の成果の概要 (3-2-3)に記載
3-2-4	消費生活センター運営費等	44,983	44,575		408	主要施策の成果の概要 (3-2-3)に記載
3-2-5	消費者行政活性化事業	2,430	1,660		770	主要施策の成果の概要 (3-2-3)に記載
3-2-6	交通死亡事故抑止総合対策事業	30,400	28,572		1,828	主要施策の成果の概要 (3-2-6)に記載
3-2-7	安全で快適な交通社会推進事業	3,780	3,442		338	安全で快適な交通社会の推進に要する経費
3-2-8	交通事故相談所事業費	5,189	5,177		12	交通事故相談室の運営に要する経費
	課計	265,605	261,392		4,213	

3. 職員数の状況 (3. 3. 31現在)

課名：くらし安全安心課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
くらし安全安心課	(2)20	(5)11	(7)31	
合計	(2)20	(5)11	(7)31	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を（ ）外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価								
<p>安全で安心なまちづくり推進事業（3-2-1）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>犯罪のない安全で安心な地域社会を実現するため、自主防犯意識の高揚や地域住民等との協働活動の活性化等、地域社会が一丸となった安全で安心なまちづくりを推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 安全な地域社会づくり支援事業（5,015 千円）</p> <p>①防犯ボランティア活動活性化事業</p> <p>防犯ボランティア団体等による犯罪のない社会づくりに向けた自主企画提案事業を8団体に委託し実施した。</p> <p>②犯罪のないまちづくり市町支援事業</p> <p>県民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の円滑な発展を促すため、市町が行う安全・安心まちづくり事業への助成を行った。</p> <p>③安全で安心なまちづくり推進事業</p> <p>安全・安心まちづくり推進協議会を開催したほか、チラシ等を作成し広報啓発を実施した。</p> <p>④青色防犯パトロール事業</p> <p>県公用車に青色回転灯を装備して防犯パトロールを実施した。</p> <p>(2) 犯罪のないまちづくり広報啓発事業（1,031 千円）</p> <p>県民への注意喚起のため、特殊詐欺被害防止等のポスター、チラシ、グッズを作製・配布して広報啓発を実施した。</p> <p>(3) 小型無人機ドローン安全確保事業（539 千円）</p> <p>小型無人機ドローンの安全利用について、県民の理解を深めるため、安全講習会を開催するとともに、ドローンに関する法令、禁止事項等をまとめたチラシを作成し、広報啓発活動を実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>刑法犯認知件数（暦年） (件)</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1422 454"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,212</td> <td>4,543</td> <td>4,910 以下</td> </tr> </tbody> </table>			基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	7,212	4,543	4,910 以下
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)							
7,212	4,543	4,910 以下							

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>消費者行政推進事業等（3－2－3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>複雑多様化する消費者問題に適切に対応できるよう、消費者啓発や消費者教育、消費生活相談、事業者指導、市町消費者行政の支援などに取り組み、県民の消費生活の安定と向上を推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 消費者安全確保事業（857千円）</p> <p>消費者問題に適切に対応するための情報収集や調査を行うとともに、不当取引や不当表示等を行う事業者に対する指導等を行った。</p> <p>(2) 消費者教育推進事業（1,874千円）</p> <p>「くらしのセミナー（巡回講座）」や「若者向け消費生活講座」などを開催するほか、ホームページ等により消費者への情報提供を行った。</p> <p>(3) 消費者行政活性化事業（1,660千円）</p> <p>①消費者行政活性化事業</p> <p>消費生活センターにおいて、困難化する消費生活相談に適切に対応するため、弁護士をアドバイザーとして委嘱するなど、早期解決を図るための体制づくりを行うとともに、「消費生活コーディネーター養成講座」の開催など地域の消費者教育を担う人材育成に努めた。</p> <p>②消費者行政活性化事業費補助</p> <p>消費者行政の活性化を図るために、国の交付金事業を行う市町に対し補助を行った。</p> <p>(4) 消費生活センター運営事業（44,575千円）</p> <p>①消費生活センター運営費</p> <p>相談窓口消費生活相談員を配置し、消費者からの相談・苦情に対応するとともに、弁護士による法律相談を実施した。</p> <p>②消費生活情報ネットワークシステム等運用事業</p> <p>全国の消費生活センター等で受け付けた相談情報を結ぶシステムにより、消費者トラブルの動向を迅速に把握するとともに、関係機関との情報共有や消費者への啓発、情報提供を行った。</p>	<p>香川県消費生活条例に基づく行政指導（文書指導）1件、食品表示法に基づく調査：30件、指導：43件、不当景品類及び不当表示防止法に基づく調査：17件、指導8件</p> <p>消費者からの相談件数：5,838件</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																		
<p>交通死亡事故抑止総合対策事業（3-2-6）</p> <p>1. 趣旨・概要 交通死亡事故を抑止するため、関係機関・団体と連携し、本県の死亡事故の特徴等を踏まえた総合的な交通安全対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容 （1）高齢者交通事故抑止対策事業（8,137千円） ①高齢者運転免許卒業生支援事業 運転免許の自主返納者や、運転免許を更新せず自動車の運転から卒業した高齢者に対する優遇制度を推進した。 ②高齢者交通安全教育事業 地域の老人クラブ等において交通安全教室を開催するなど、高齢者施策と連携した交通安全教育を実施した。 ③高齢者交通指導員支援事業 高齢者交通指導員に交通安全情報や交通安全用品等を提供し、交通事故防止活動の支援を行った。</p> <p>（2）自転車条例推進事業（2,233千円） 条例を推進するための広報啓発を行うとともに、自転車の交通ルールの遵守や自転車損害保険等への加入促進等を図った。</p> <p>（3）交通死亡事故抑止対策事業（18,202千円） ①交通死亡事故抑止広報啓発事業 各種広報媒体を活用して、シートベルトの全席着用徹底や横断歩道利用者の安全確保について、重点的に広報啓発を実施した。 ②セーフティドライブ推進事業 スマートフォンのアプリ等を用いて、車の運転状況を診断し、得点を競う安全運転コンテストを実施した。 ③シートベルト着用率向上事業 啓発動画を作成し運転免許センター等で放映するとともに、大型商業施設で啓発イベントを実施した。 ④交通安全連携推進事業 市町や交通安全関係団体等と連携した交通安全啓発活動を実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>交通事故死者数（暦年）（人）</p> <table border="1" data-bbox="941 313 1420 459"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52</td> <td>59</td> <td>39以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>交通事故死傷者数（暦年）（人）</p> <table border="1" data-bbox="941 571 1420 716"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,603</td> <td>4,573</td> <td>8,200以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>高齢者人口10万人当たりの交通事故による高齢者死者数（暦年）（人）</p> <table border="1" data-bbox="941 873 1420 1019"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11.5</td> <td>14.4</td> <td>8.7以下</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	52	59	39以下	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	9,603	4,573	8,200以下	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	11.5	14.4	8.7以下
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)																	
52	59	39以下																	
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)																	
9,603	4,573	8,200以下																	
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)																	
11.5	14.4	8.7以下																	